

気候変動適応推進会議（第1回） 議事要旨

1 日時

平成30年12月3日（月）15:10～15:30

2 場所

環境省 24 階省議室

3 議事要旨

冒頭、原田環境大臣の開会挨拶において、気候変動対策として「緩和」と「適応」を両輪で進めていくことが必要であることや、各分野において、気候変動の影響が既に現れていることから、関係府省庁が一丸となって気候変動適応を進めていくことが重要である旨、指摘があった。（別紙参照）

（1）気候変動適応推進会議の開催について

- ・ 環境省から、資料1に基づき気候変動適応推進会議（以下「推進会議」という。）の開催のための関係府省申合せ案について説明があった。
- ・ 本案について了承され、推進会議の開催について決定した。

（2）気候変動適応法の施行について

（3）その他

- ・ 環境省から、資料2に基づき、気候変動影響評価、気候変動広域協議会、関係研究機関等との連携及び気候変動適応計画の進捗管理方法等の当面の予定について説明があった。
- ・ 本資料のとおり、関係府省庁が連携して取り組んでいくことを確認した。その際、これまで設置されていた「気候変動の影響への適応に関する関係府省庁連絡会議」を踏まえ、推進会議では一層連携を進めていくことについて発言があった。

最後に、城内環境副大臣から、資料2で説明のあった関係研究機関等との連携について本省レベルでもサポートをお願いしたいこと、課題となっている気候変動適応計画の進捗管理方法の確立検討についても関係府省庁の協力が必要である旨、発言があった。

原田環境大臣開会挨拶 概要

- 先週の11月27日に「気候変動適応計画」が閣議決定され、12月1日には「気候変動適応法」が施行されました。計画策定及び法施行準備に当たっては、関係府省庁の協力を改めて感謝します。
- 気候変動問題に関しては、温室効果ガスの排出削減対策と、気候変動影響による被害の防止・軽減を図る適応策を、車の両輪として強力に進める必要があります。
- 近年の気候変動の影響は、農林水産業、防災、健康、産業経済活動等関係府省庁の所管分野においても既に現れてきており、適応法及び適応計画に基づいて、関係府省庁が一丸となって気候変動適応を推進していくことが重要です。
- 本日は、適応法の施行に当たって、気候変動適応に関する今後の進め方と関係府省庁の連携について、確認させていただくため、皆さまにお集まりいただきました。
- 改めて、政府一丸となった気候変動適応の推進について関係各府省庁のご協力をお願いし、私の開会挨拶といたします。